

磐城時報

編輯兼發行所 同田 弘成
印刷所 同田 弘成
電話 二四一
郵政掛號 第三三三號
社址 福島縣石城郡平町新田十四
一、郵金五圓 二、郵金三圓
三、郵金一圓 四、郵金五角
五、郵金二角五分
六、郵金一角五分
七、郵金一角
八、郵金五分
九、郵金二分五分
十日刊 (日曜、祭日) 休刊

保安林解除に對し 豊間村で異議申立

某縣議の策動が遺憾 鈴木村長憤慨して語る

石城郡江名町大字江坂本信吉語る。
氏が豊間村大字合磯海岸に有する松林六反八畝は明治三十六年保安林に編入され今日に至つたものであるが、坂本氏は右立木伐採を目的とし平町某縣會議員に依頼し縣に保安林解除の申請をなし、縣では七月一日附で受理した旨告示したので豊間村では大いに驚き對策を協議中である。事慶報の如くであるが、右に對する異議申立期間は来る二十五日までであるため同村では一兩日中村會を召集し解除反對の異議申立書を提出する事になつた。異議申立の理由とする處は、一、畑十二町歩に砂塵が飛込む事、一、縣道に損害ある事、一、縣立回春園患者に影響ある事等である、右につき鈴木村長は

「去る六月十七日の縣報に保安林解除の告示があつたが、森林法十八條によれば縣では告示と同時に森林所在町村役場にその旨告示する筈であるのに何等の通知がないので縣に紹介した處縣では大いに狼狽し七月一日附で前の告示を取り消し改めて同様の告示をなした。此に於て解除受理の効力が發生したので二十五日まで異議の申立をなす事になつたのであるが、保安林に編入される時の事情に比へて今日に於ては更に保安林にしておく必要が更に加はつてゐるから當然解除は取消になる事と信じて目的貫徹までは行政訴訟も決して辭せぬ。某縣會議員が一個人の利益のため豊間全村民の希望に添はぬ策動を敢てした事は遺憾である云々」

平町商工會で 規約を改めて活動 中商工業者を救済

遊藝人を装つて 窃盗を働らく男

平町商工會は平町代表商店が磐城案を承認、磐城實業の看板を警備し、炭礦糧食部を取扱つてゐた次城商會株式會社と塗り替へ更正の第一歩を踏み近く大藏大臣へ商會社組織の認可申請書を提出することになつた。

遊藝人を装つて 窃盗を働らく男

数日前から平町内を徘徊しての日神谷村大字水前清水喜太郎方若い遊藝人の舉動が不審なから白米一斗を窃取した事を自分で平署猪狩事務が調べた處平町白した、平署で余罪取調べ中で鎌田町の木質宿に山形市香澄町

小爲替變造犯人は 東京方面の常習犯か

早くも逃走した形跡

昨報平町搦槍小路磐城屋便利店では平署で犯人嚴探中であるが、齋藤茂次郎方を欺き變造小爲替相前後して平町五丁目柴田貞服で二十圓を詐取した事件について水戸市曲尺手町局振改正の件を附議満場異議なく原

出し二十圓の小爲替を二十圓に改竄したもので釣銭を詐取され、株主總會で業務を大改革し資本金を一躍八萬圓に減じ全額拂返り、犯人は東京方面より流れて来た改竄詐欺を常習とする者の仕業らしく、人相は三十を練つてゐる、株主は何れも會社の苦境を察知してゐるから減資更正案に異議なく承認するものと見られてゐる。

資本金五十萬圓を有する大世帯の平町磐城建物會社も打續く財界の不況で赤字に陥つて重ねる面上僅かに營業を繼續してゐる状態であるが、二十六日開かる改竄したもので釣銭を詐取され、株主總會で業務を大改革し資本金を一躍八萬圓に減じ全額拂返り、犯人は東京方面より流れて来た改竄詐欺を常習とする者の仕業らしく、人相は三十を練つてゐる、株主は何れも會社の苦境を察知してゐるから減資更正案に異議なく承認するものと見られてゐる。

降雨續きの憂うつな天候も漸く恢復し河童連の飛躍する本格的暑さがやつて来たので氣の早いのは早くも海岸に押かけ磐城海岸は遊に活氣づき各浴場とも鳴り物入りで浴客吸収に力を注ぎ自動車會社の割引發行なども夏らしい氣分が充實して来たが、各海水浴場の賑ふのは本月初日頃からで、鐵道側でも平驛四倉濱間臨時列車を二十七日から運轉することに決定、因に各海水浴場最近の情報は左の如し

勿來 青年團消防組員等協力し目下無料脱衣場、海岸の脚立等準備中で二十七日頃開場、八月一ばい實探しや餘興等を行ふ、同地の浴客用別荘は八疊間一月十圓位で前年と同じ位、既に五六家族入つてゐる。

四倉 臨時列車の便あり交通に恵まれてゐるだけに最も賑ふ處、鐵道省や町役場の無料脱衣所が數ヶ所あり此處でも實探しや諸種の餘興がある。

平警察署 田中警務課長は昨報の如く十九日來郡四倉町海氣館に投宿し二十日朝平署に來り各署員の武道試合訓練を檢閲し終つて過般執行した巡閱の講評を行つた。

水産講演會 四倉鷄鳴會では二十日午後七時より同町磐城女子職業學校に於て小名水産試験場長飛塚高次氏を招き水産講演會を催した。

平の簡閱點呼 平町陸軍簡閱點呼は八月十四日午

前七時から平第一小學校に於て執行するが、該當者は大正十年、十二年、十四年、昭和二年四年の徵集者及び昭和三年並に六年に徵集された未教育補充兵で、執行官は福島縣隊區歩兵少佐山本太郎氏である。

蠶業取締所 九月に開業 豊間 同地はキャンブの適地として知られてゐる爲東京武藏野高女二百名八月初旬からキャンブの申込みあり、小迄に落成し九月一日から事業を開始する豫定である、これが完多敷ある爲村では衛生上、風成の曉は石城郡下養蠶家の光明なる譯で、まづ第一の事業として蠶種製造の増加をはかる方針で、次いで養蠶部といはれても桑園の指導管理運れてをり蠶兒飼育に欠陥あり又販賣方面等に徹底的改善を斷行する計劃で折柄夏秋時期でもあり當業者は一日も早く事業の開始を希望して居る。

石城の夏蠶 石城郡下では今年夏蠶の掃立は皆無でも製糸業者は面食つてゐる、それは桑不足と繭價安のためであるが、こんな關係から八月上旬から開始される初秋蠶の掃立も減少するであらう。この桑不足は不況のため施肥が十分でない事が最大原因である。

疫病發生 石城郡内郷村大字白字濱井場長久保キミ(三三)はチフス、赤井村三島武弓敬子(五三)は疫病と判明、十七日何れも隔離された。

新刊紹介 詩南車第二十輯目次夏の霧(俳句)渡邊何鳴、短歌高入晚歌、佐々木顯美、青市、白木英尾、赤井鐵男、谷金貝子外十數名、その他頒價十五錢銀治町詩南社發行

▲木村組頭出席 福島縣消防協會の評議員は二十六日福島市公會堂に於て開催するが四倉署管内消防組四倉消防協會よりは大野消防組頭木村庄助氏出席する。

▲平の簡閱點呼 平町陸軍簡閱點呼は八月十四日午

前七時から平第一小學校に於て執行するが、該當者は大正十年、十二年、十四年、昭和二年四年の徵集者及び昭和三年並に六年に徵集された未教育補充兵で、執行官は福島縣隊區歩兵少佐山本太郎氏である。

蠶業取締所 九月に開業 豊間 同地はキャンブの適地として知られてゐる爲東京武藏野高女二百名八月初旬からキャンブの申込みあり、小迄に落成し九月一日から事業を開始する豫定である、これが完多敷ある爲村では衛生上、風成の曉は石城郡下養蠶家の光明なる譯で、まづ第一の事業として蠶種製造の増加をはかる方針で、次いで養蠶部といはれても桑園の指導管理運れてをり蠶兒飼育に欠陥あり又販賣方面等に徹底的改善を斷行する計劃で折柄夏秋時期でもあり當業者は一日も早く事業の開始を希望して居る。

石城の夏蠶 石城郡下では今年夏蠶の掃立は皆無でも製糸業者は面食つてゐる、それは桑不足と繭價安のためであるが、こんな關係から八月上旬から開始される初秋蠶の掃立も減少するであらう。この桑不足は不況のため施肥が十分でない事が最大原因である。

疫病發生 石城郡内郷村大字白字濱井場長久保キミ(三三)はチフス、赤井村三島武弓敬子(五三)は疫病と判明、十七日何れも隔離された。

新刊紹介 詩南車第二十輯目次夏の霧(俳句)渡邊何鳴、短歌高入晚歌、佐々木顯美、青市、白木英尾、赤井鐵男、谷金貝子外十數名、その他頒價十五錢銀治町詩南社發行

▲木村組頭出席 福島縣消防協會の評議員は二十六日福島市公會堂に於て開催するが四倉署管内消防組四倉消防協會よりは大野消防組頭木村庄助氏出席する。

▲平の簡閱點呼 平町陸軍簡閱點呼は八月十四日午

石炭の大特賣

●塊炭正味十貫目

一俵 金二十錢也

▽「品が良く」「値が安く」「目方は正確」です
▽トニカク一度使つて見て下さい
▽配達は一俵より致します

御注文は……電話三七番へ

平驛前

阿部石炭店

例年の通りに

氷水及び色々の新口な飲料水を初
ましたから例年の通り御引立御用
命下さい。

調味は百パーセントです

山盛の!

特製

アイスクリーム	五十
あつきアイス	十五
ミルクセーキ	十五
ソリス	十五
氷金	十
氷ス	十
氷イン	十
水	十

外澤山メツラシキ飲料物御座い升

……出前迅速……

魚沼會堂

電話六三三番

例年の通り

氷水 始めました

多少に拘らず御用命御引立の程願上ます。

特製
アイスクリーム(山盛) 金十錢
あつきアイス(同) 金五錢
ミルクセーキ(同) 金十五錢
ソリス水 金十錢

其他氷水各種

出前迅速

平町一丁目

藤寅

電話……一四二番

入學進級のわ子様方へ

完全なツルヤの

防水マントを

耐久三年以上

二尺	一圓四十錢
二尺二寸	一圓六十錢
二尺四寸	一圓八十錢

中ゴム合セ別誂マント

平四 ツルヤ 電話二四〇

男女 二圓三十錢

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

心安積蓄 利低通融

三来無盡

許免臣大藏大

社會盡無用信本湯

番七四話電

毒校 腸胃

皮膚病 淋病 婦人病 専門

虫腸病 十二指 専門

院醫科腸胃性村松

(七〇一話電) 町南町平

計免臣大藏大 共有共栄

磐城無盡

誠意 堅實

番四六二話電

公債 勸業債券 高價買入

電話賣買

御一報次第店員參上可仕候

平町五丁目二二二

佐々木株式会社

電話二五三番

初島 飲料

オキビル

純粕取焼酎

サイダー各種

平町山永 田酒 町店

番七〇二電

消費節約 品質本位 家庭染料

みゆの染

平町一丁目

特約店 大平や薬店

電話四六二番

印刷物は……加納活版所へ